

016

受験番号

令和七年度 熊本大学文学部 学校推薦型選抜試験問題

## 小論文

## 歴史学科

### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで開けてはいけません。
- 2 試験開始の合図の後、直ちに表紙、問題用紙および解答用紙に受験番号を記入してください。
- 3 問題用紙が四枚、解答用紙が三枚、下書き用紙が三枚ありますので、開始の合図の後、乱丁や落丁がないかどうか確かめてください。もしあれば、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
- 5 試験終了後、問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってください。

小論文 問題用紙 (1/4)

受験番号

次の文章④⑤は、武井彩佳『歴史修正主義』の一節である。これを読んで問いに答えなさい。

④近年、何が事実で何が嘘なのか、境界がはっきりしない世界が拡大した。

「もう一つの事実」「フェイク」「陰謀」——こうした言葉が世界中で飛び交い、別の現実が存在するかのようでもある。人々が当然の事実と受け止めてきた多くの事柄に対して、根拠なくその真偽が疑われた。それは事実なのか、誰が証明したのか、証明されていないならばフェイクだ、といったほとんど言いがかりに近い議論が仕掛けられた。

(中略)

歴史的事実の全面的な否定を試みたり、意図的に矮小化<sup>わいしょうか</sup>したり、一側面のみを誇張したり、何らかの意図で歴史を書き替えようとすることを「歴史修正主義」(revisionism)と呼ぶ。歴史修正主義は、時代や政治状況により形を変えて繰り返し現れる。膨大な史料、目撃証言、物理的痕跡など、山のように証拠があっても、消えることはない。

ただし、歴史を新たな知見で「修正」すること自体は、必ずしも悪いことではない。新史料が発見されれば歴史が大きく書き直されることがあるし、時代が変われば社会の記憶も変化する。歴史は常に書き加えられ書き直され、不断の検証にさらされている。

しかし、歴史を特定の意図で都合のよいように「書き替える」ことと、過去の出来事に違った角度から光を当てて歴史を「書き直す」こととの区別は、容易ではない。学術的にも許容される修正と、批判されるべき書き替えの境界は明白ではない。では、数ある歴史記述のなかから、歴史修正主義的な記述を見分けることはできるのだろうか。

この点について考えるために、歴史家は過去をどのように眺めているのか、対して歴史修正主義者はどのような見方をしているのか、一つの譬<sup>たと</sup>え話をしよう。

家の窓の一つから、遠方に赤い家が見えるとする。窓枠を通して見える赤い家の姿は、もちろんその全体像ではない。それは特定の方向と角度から捉えられた立面図に過ぎず、赤いのは実は正面だけかもしれない。その家は後ろに細長くのびているかもしれない。一見したところ普通の家のようにだが、実は張りぼてでないという確証はない。

したがってこの家の本当の姿を知るには、ぐるりと外周をまわってさまざまな角度から眺め、測量し、場合によっては航空写真も撮って正確な形状を知る必要がある。コツコツと壁を叩いて反響音を聞き、直に触って質感を確かめるだろう。さらにこの家の近くに住

小論文 問題用紙 (2/4)

受験番号

む人に家が建てられた経緯<sup>いきまづ</sup>を聞けば、実は最初は小さな小屋だったものが数世代にわたって拡張されてきたとわかるかもしれない。

ここでの赤い家とは、歴史事象のことである。自分の立つ場所から赤い家までの距離とは、出来事から経過した時間のことだ。家を眺める窓枠とは、誰もがものを観察する際に無意識に依拠する自身の価値観や解釈の枠組みのことである。

対象が遠ければ遠いほど実像を知るのは難しいため、人はこれにさまざまな手段で近づくようと試みる。書かれた史料、オーラルヒストリー、写真・映像、考古学的発掘物など、多様な角度からアプローチすることで、当時は実際にどうであったのかを推測する。こうしたトータルな分析によって、初めて歴史の全体像を把握することが可能になる。

つまり歴史学とは、過去が全体としてどうであったかを示す学問であり、一点から、一側面からのみ解釈することはしない。また複数の証拠を突き合わせることで判断する。これには専門性と長年の訓練が必要とされる。

これに対し、特定の窓枠から見えた風景の断片から、その家について結論するのが歴史修正主義である。全体のごく一部しか見えていないにもかかわらず、「赤い建物が見えた、したがってそれは赤い家である」と結論付ける。自身の考えと矛盾する事実は単純に無視することが多い。学術的にはきわめて稚拙であるだけでなく、事実に対して不誠実なのだ。

最初から事実と異なる歴史像を広める意図であらさまに史実を否定する主張を、欧米では「歴史修正主義」ではなく「否定論」(denial)と呼ぶようになっていく。こうした主張をする人は、「否定論者」(denier)と呼ばれる。こうして意図的に歪曲<sup>わいまく</sup>された歴史記述が選り分けられる。

日本では、歴史修正主義と否定論は必ずしも区別されていない。歴史修正主義は略して「修正主義」と呼ばれるが、これは否定論も含むかなり広い幅を持つ言葉として使われている。二つが区別されないがために、意図的に歪曲された歴史像が一つの歴史解釈として社会の一部で流通している現実もある。ただし本書では、日本の状況に合わせ、「歴史修正主義」という言葉は否定論も含む概念として使う。

また日本では歴史修正主義をめぐる議論には、歴史家よりむしろ政治家、ジャーナリスト、政治的な主張を持つ一般人などが参加し、実際には専門外の人々が論争の中心となっている。歴史家は政治的な論争に巻き込まれるのを避けようとして、もしくは根拠を欠く主張を論破する労力を無駄と考えて、距離を置く傾向がある。つまり、歴史学の外側で歴

史をめぐる議論が行われている。

本書はこうした認識に立ちつつ、主に第二次世界大戦以降の欧米社会の歴史修正主義について描き、分析していく。日本の歴史修正主義は次のような理由から扱わない。まず著者が西洋史が専門であること、次にヨーロッパで歴史修正主義の問題は、歴史の否定の法規制とともに展開してきたためである。この枠組みが日本にはない。この点を意識せずに、歴史修正主義への社会の対応だけを見ると、大きな差があるように見えてしまう。

(中略)

歴史修正主義は、表面上は歴史の問題を扱っていても、本質的には政治的・社会的な現象である。人々が引き寄せられる動機やきっかけはさまざま、歴史とは無関係の個人的な利害など、まったく別の力学で言説が維持されることもある。メディアの責任も大きい。

このため歴史修正主義はむしろ社会と民主主義との関係から考える必要がある。それは、真実を追究することの意義と、これに拠<sup>よ</sup>って立つべき私たちの社会の価値観に、再び立ち戻ることには他ならないだろう。

④これまで歴史の研究者は、歴史修正主義は素人の愚論であるから相手にすべきではないと言つて無視するか、逆に逐一歴史の証拠を示して反証し、「論破」しようとするかしてきた。その際には「専門性」という言葉が、学術レベルに満たない言説を切り捨てる刀となつてきた。彼らは歴史家ではない、史料の扱い方が間違っている、というわけだ。しかし、論破しようとするほど、歴史修正主義は活力と新たな支持者を獲得するようにも見え、また実際の議論は歴史から遠ざかった。

私はこうした風潮にとても落ち着かないものを感じていたのだが、そうこうするうちに二〇一六年にドナルド・トランプがアメリカの大統領になった。彼が既存のメディアのニュースは嘘ばかりだと言いだした当初、人々は苦笑してやり過ごそうとした。合理的に考えれば、気候変動など起こっていない、アメリカが闇の政府に操られている、そんなことを信じる人間はいないだろう、と。

しかし、しばらくしてこの考えは甘かったことに気づいていく。嘘や、嘘の入り交じった主張が繰り返されることで、これは徐々に「もう一つの事実」としての地位を獲得したからだ。

世界中で「私にとつての真実」が解禁された。それまでは、根拠のないことを主張することには躊躇<sup>ちゅうちゆ</sup>があった。特に責任のある地位にある人はそうであった。ところがトランプ

令和七年度 熊本大学文学部 学校推薦型選抜試験問題

小論文 問題用紙 (4/4)

受験番号

時代は、私にとってはこれが真実である、なぜならこれは私の信じたことであるからだ、と臆面もなく言い切ることを政治が承認した。証明できなくてもよい、と一国の大統領が言った。こうして皆が、「私にとっての真実」を語り始めた。

二〇一〇年代後半の流れが示したのは、事実や真実はたやすくその地位を追われることである。言論の自由市場では、事実が常に嘘を駆逐するとは限らないことが明らかになったのだ。真偽の確かでないものが、社会の真ん中に堂々と鎮座し始め、それは私たちの認識を不安定にさせた。

(武井彩佳『歴史修正主義』より。原文を改めた箇所がある。)

問一

傍線部について、筆者がこのように主張する理由を、四〇〇字以内で説明しなさい。

問二

問一の答えを踏まえ、あなたは歴史修正主義についてどのように考えますか。それが現れる社会的背景も含めて、六〇〇字以内で論じなさい。